



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL <http://www.izu-sr.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	503	△3.4	△23	—	△22	—	△19	—
27年3月期第1四半期	521	15.0	△38	—	△46	—	△60	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △21百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △59百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△0 68	— —
27年3月期第1四半期	△2 21	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,229	781	63.5
27年3月期	1,283	802	62.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 781百万円 27年3月期 802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
28年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
28年3月期(予想)	— —	0 00	— —	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	6.3	100	1.3	100	△1.6	100	9.8	3.51
通期	2,600	2.5	130	151.1	130	67.0	110	175.5	3.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	28,496,537株	27年3月期	28,496,537株
28年3月期1Q	19,923株	27年3月期	19,913株
28年3月期1Q	28,476,510株	27年3月期1Q	27,180,772株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策・金融緩和の継続により企業収益・雇用情勢に改善がみられ、円安の影響による外国人観光客の増加などもあり、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況下、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各運営施設の入園者数と売上確保に努めております。エンターテイメント事業では、継続してCM制作受注に努めております。また投資事業では、引き続き過去に投資した債権の回収を図っております。リスクマネジメントの観点から事業ポートフォリオの再構築についても適宜検討しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高5億3百万円（前年同四半期に比べ3.4%減）、営業損失23百万円（前年同四半期は営業損失38百万円）、経常損失22百万円（前年同四半期は経常損失46百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失19百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

(レジャー事業)

伊豆シャボテン公園では、毎年恒例となりました「第3回伊豆高原サボテンの花まつり」やカピバラに3頭の赤ちゃんが誕生したことを記念し赤ちゃんの名前募集などを行うイベント「カピバラの赤ちゃん誕生キャンペーン」などのイベントを実施しました。また雨の日でもリスザルの姿を楽しむことができる「リスザルのツリーハウス」の開設などを行い集客に努めました。

伊豆ぐらんぱる公園では、「開園50周年アニバーサリーyear」と題して、スクラッチ抽選会や大型気球を使った天空遊泳等のイベントを開催いたしました。

伊豆四季の花公園では、今回で9回目となる「城ヶ崎あじさいまつり」を開催し集客に努めました。

伊豆海洋公園ダイビングセンターでは、開園50周年記念イベントを開催するなど集客に努めました。

また伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとでは、富戸港の定置網で取れた魚介類などを取り扱う屋外炭火焼「海鮮バーベキュー」をオープンいたしました。

しかしながら、春先の天候不順及び箱根地方の噴火の影響などもあり、入園者数は309千人（前年同四半期に比べ3.1%減）となりました。

この結果、レジャー事業では、売上高4億99百万円（前年同四半期に比べ2.7%減）営業損失18百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）となりました。

(エンターテイメント事業)

エンターテイメント事業では、CM制作による売上や当社が保有するコンテンツの二次使用による著作権収入がありました。

この結果、エンターテイメント事業では、売上高3百万円（前年同四半期に比べ51.4%減）営業損失17百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）となりました。

(投資事業)

投資事業では、過去に投資した投資有価証券の売却や債権回収を図りましたが、新規投資による売上はありませんでした。

(その他)

その他事業では、売上高0百万円、営業損失6百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて97百万円減少し、2億70百万円となりました。これは主として、現金及び預金が87百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて43百万円増加し、9億59百万円となりました。これは主として、その他に含まれる機械が24百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて53百万円減少し、12億29百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて32百万円減少し、2億85百万円となりました。これは主として、買掛金が19百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0百万円減少し、1億62百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて32百万円減少し、4億48百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて21百万円減少し、7億81百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の62.5%から63.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に発表しました平成28年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

1 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	269,702	181,880
売掛金	37,951	24,656
未収入金	341	110
商品等	19,229	16,997
繰延税金資産	25,607	28,458
その他	14,975	18,306
流動資産合計	367,807	270,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,642	436,749
土地	270,252	270,252
その他	97,287	154,345
有形固定資産合計	812,182	861,346
無形固定資産		
ソフトウェア	13,335	12,508
無形固定資産合計	13,335	12,508
投資その他の資産		
投資有価証券	59,663	54,186
長期貸付金	20,750	20,750
長期化営業債権	102,550	102,550
破産更生債権等	754	754
その他	30,680	31,328
貸倒引当金	△124,054	△124,054
投資その他の資産合計	90,343	85,514
固定資産合計	915,861	959,369
資産合計	1,283,669	1,229,778

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,589	27,867
短期借入金	-	17,749
未払金	197,462	189,974
前受金	257	31
預り金	4,272	5,380
未払法人税等	12,319	3,309
賞与引当金	16,827	27,780
その他	39,332	13,576
流動負債合計	318,061	285,669
固定負債		
繰延税金負債	307	-
退職給付に係る負債	124,730	128,806
その他	38,297	34,107
固定負債合計	163,335	162,913
負債合計	481,396	448,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,091	455,091
資本剰余金	186,500	186,500
利益剰余金	172,055	152,453
自己株式	△12,016	△11,920
株主資本合計	801,629	782,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	△928
その他の包括利益累計額合計	642	△928
純資産合計	802,272	781,195
負債純資産合計	1,283,669	1,229,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	521,079	503,364
売上原価	205,991	190,494
売上総利益	315,088	312,870
販売費及び一般管理費	353,906	336,404
営業損失(△)	△38,817	△23,533
営業外収益		
受取利息	155	15
受取賃貸料	294	325
受取手数料	266	210
その他	557	701
営業外収益合計	1,274	1,253
営業外費用		
支払利息	7	-
敷金償却	-	270
貸倒引当金繰入額	8,862	-
その他	25	-
営業外費用合計	8,895	270
経常損失(△)	△46,438	△22,549
特別利益		
固定資産売却益	-	57
受取保険金	-	4,204
債務免除益	503	1
特別利益合計	503	4,264
特別損失		
投資有価証券評価損	10,214	3,598
特別損失合計	10,214	3,598
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,149	△21,884
法人税、住民税及び事業税	1,573	463
法人税等調整額	2,365	△2,851
法人税等合計	3,939	△2,388
四半期純損失(△)	△60,089	△19,496
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,089	△19,496

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△60,089	△19,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	246	△1,571
その他の包括利益合計	246	△1,571
四半期包括利益	△59,843	△21,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,843	△21,067
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	513,955	7,109	—	521,065	14	521,079	—	521,079
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	26	14	41,666	41,706	8,658	50,365	△50,365	—
計	513,981	7,123	41,666	562,772	8,673	571,445	△50,365	521,079
セグメント利益又は 損失(△)	△3,436	△19,143	△518	△23,097	△15,720	△38,817	—	△38,817

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額△50,365千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	499,897	3,452	—	503,350	14	503,364	—	503,364
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	29	16	30,300	30,345	9,000	39,345	△39,345	—
計	499,926	3,469	30,300	533,696	9,014	542,710	△39,345	503,364
セグメント利益又は 損失(△)	△18,848	△17,145	19,414	△16,578	△6,955	△23,533	—	△23,533

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額△39,345千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

(重要な後発事象)

1. 共通支配下の取引等

当社の連結子会社である株式会社伊豆シャボテン公園(旧 株式会社サボテンパークアンドリゾート)と株式会社伊豆四季の花・海洋公園は、平成27年4月24日に締結された合併契約に基づき、株式会社伊豆シャボテン公園(旧 株式会社サボテンパークアンドリゾート)が株式会社伊豆四季の花・海洋公園を平成27年7月1日付で吸収合併致しました。

(1) 合併当事企業の名称及びその事業内容

(吸収合併存続会社)

名 称 株式会社伊豆シャボテン公園(旧 株式会社サボテンパークアンドリゾート)
事業内容 伊豆シャボテン公園、伊豆ぐらんぱる公園、伊豆高原旅の駅ぐらんぱるポートの運営及びこれに付帯する事業

(吸収合併消滅会社)

名 称 株式会社伊豆四季の花・海洋公園
事業内容 伊豆四季の花公園、伊豆海洋公園の運営及びこれに付帯する事業

(2) 企業結合日 平成27年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社伊豆シャボテン公園(旧 株式会社サボテンパークアンドリゾート)を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社伊豆四季の花・海洋公園は解散しました。

(4) 結合後の企業の名称

名 称 株式会社伊豆シャボテン公園(旧 株式会社サボテンパークアンドリゾート)

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社グループのコア事業であるレジャー事業について経営資源を集中し、業務の集約をはかり経営スピードを高めることによってさらなる収益拡大を目指していくためであります。

2. 当社子会社における訴訟の和解

当社の連結子会社である株式会社伊豆シャボテン公園(旧 株式会社サボテンパークアンドリゾート)は、7月29日に静岡地方裁判所沼津支部において、株式会社ケプラムとの間での株式会社伊豆シャボテン公園保有不動産の競売の申立及び株式会社伊豆シャボテン公園による根抵当権設定登記抹消に関する訴訟に関し和解いたしました。これにより、平成28年3月期第2四半期連結会計期間において和解金として20,000千円を特別損失として計上する予定です。